

# 日本政治学会 会報

The JPSA News

No.42

DEC. 2001

## IPSA世界大会（2006）イン福岡

国際交流委員長 蒲島 郁夫

前回のニュース・レターでご報告致しましたように、世界政治学会（IPSA）の執行委員会は、2006年のIPSAの世界大会を福岡で行うことを正式に決定致しました。御存知のようにIPSA世界大会は3年に一回行われており、2003年の南アフリカ（ダーバン）のあとが福岡大会になります。

日本政治学会は1952年にIPSAに正式に加入しましたが、当時はIPSA世界大会を日本で開くことなど、夢のまた夢であったことと思われます。IPSA世界大会を日本で開催しようとする動きが最初にあったのが、1982年のIPSA東京ラウンド・テーブルの頃ですから、世界大会の日本開催は、20年にわたって日本政治学会の懸案事項だったこととなります。（田口富久治『戦後日本政治学史』）

それ以来、日本政治学会はIPSA世界大会の日本開催に向けて実に長期的な取組を行ってきました。東京ラウンド・テーブルの剰余金をIPSA基金に積立て、これを毎年着実に増やしてきました。それなしには、学会がIPSA世界大会を日本に招聘することなど不可能だったでしょう。IPSA基金（現国際交流基金）の基礎を作られた、東京ラウンド・テーブルの辻清明組織委員長、武者小路公秀事務局長、高島通敏事務局次長、有賀弘幹事、内田満幹事、内山秀夫幹事をはじめ、学会の先人達の御苦労と先見性に心から感謝したいと思います。

IPSAの執行委員会は福岡開催を心から喜んでいきます。それは山崎広太郎・福岡市長をはじめ、福岡市当局の温かい支援体制、2003年に完成する福岡国際会議場の素晴らしい施設、そして福岡空港の利便性がどこよりも優れているからです。国際会議場のメインホールは最大3000人が着席可能であり、会議

室も24室を同時に使用することができます。2000人近くの参加者が見込まれるIPSA世界大会ですが、一つの会議施設で十分対応が可能です。福岡空港にはアジアの主要都市からは直行便で、北米・欧州からは、成田、関西、ソウル空港経由で着くことができます。また福岡空港から都心中心部まで地下鉄で5分の近さです。

これまで何度かIPSAに参加した個人的経験からいえば、IPSA世界大会の成功の条件は、①研究内容の充実、②オープニング・セレモニーの華やかさと食事、③ホテルの良さと値段、④閉会式の盛り上がりまでに尽きるようです。とくに、食べ物の恨みは恐ろしく、いまでも、パリ大会で、当時のシラク・パリ市長（現仏大統領）のスピーチのあと、参加者が食卓に殺到した光景を思い出します。ほとんどの人がワイン一杯にもありつけなかったような気がします。そのオープニング・パーティについては、福岡市が心をこめて提供して下さるとのことです。

2006年の開催に向けて、近く正式な組織委員会を立ち上げる必要があります。組織委員会の仕事は、日本学術会議との折衝、研究費の申請、招待者の決定、大会運営、会計報告など多岐にわたっています。とくに、募金活動が最も重要だと思います。ちなみに、1997年ソウル大会では約91万米ドル、2000年ケベック大会では約75万米ドルの募金を集めたそうです。募金がうまく行くためにも、日本の経済が2006年まで是非立ち直って欲しいと思います。ただ、世界大会の真の成功は、どれだけ多くの日本政治学会会員が参加し、学問的充実感と大会の感動を、世界の仲間と共有するかにかかっていると思います。2006年にはどうぞIPSAイン福岡へ。

## 2003年度『年報政治学』論文公募について

2003年度年報委員長 渡辺 浩

2003年度『年報政治学』に掲載する論文を、下記の要領で、募集致します。

1. 応募資格：下記の応募登録時において、日本政治学会会員であること。
2. 主題：政治学に関わる如何なる主題も可。
3. 分量：20,000字以内。
4. 応募登録：応募希望の会員は、2002年3月31日までに、同封の申込用紙で応募登録をして下さい。その際、封書の表に「年報政治学論文応募」と朱書して下さい。
5. 論文提出：期限は、2002年11月30日です。ハード・コピー（A4判、40字×30行）を3部提出して下さい。コピーは返却致しません。御了解の上で御提出下さい。

6. 採否：年報委員会の下に設置する審査委員会の審査を経て、年報委員会で掲載するか否かを決定し、2003年3月31日までに、応募された方に連絡致します。なお、採択された論文については、その後、改めて、フロッピー・ディスクとハード・コピー1部の提出をお願い致します。

7. 宛先：応募登録と論文提出の宛先は、次の通りです。

〒113-0033 東京都文京区本郷  
東京大学法学部研究室 渡辺浩

8. 問合わせ：万一、急なお問合わせ等ございましたら、下記へどうぞ。

研究室共用ファックス 03-5841-3174

電子メール watanabe@j.u-tokyo.ac.jp

## 2002年度企画委員会からのお知らせ

2002年度企画委員長 加藤 節

日本政治学会2002年度研究会（愛媛大学）における自由論題の報告者を下記の要領で募集いたします。

1. 募集人員 3名以上6名以内とします。
2. 募集期限 2002年1月31日とします。
3. 応募先

「〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1成蹊大学法学部 加藤 節研究室」です。

4. 応募方法

論題に800字程度の報告の主題を付し、封書にて郵送して下さい。（なお、封書裏面に政治学会自由論題と朱書して下さい。）

5. 採否

企画委員会で審査し、その結果を2002年2月28日までに各応募者に文書にて連絡します。

なお、本件についての問い合わせは、加藤 節宛にE-mail(kato@law.seikei.ac.jp)または電話（0422-37-3500）で行って下さい。

## 研究業績自己申告のお願い

2002年度文献委員長 小野 耕二

今年度も例年のように次の要領で会員の皆様の研究業績を『年報政治学』に「学会展望」として掲載します。同封の用紙に、主な業績の自己申告をお願いします。その際、各業績の＜専門分野＞を指定し

てください。なお、紙幅の都合により、自己申告の業績の全てを取り上げることができない場合もあります。ご了解願います。

1. 申告対象期間 2001年1月1日から同年12月31

日までに刊行された業績（できるだけ、抜き刷りまたはコピーの同封をお願いします。お送り下さった図書・雑誌論文は返却できませんので、ご了解ください。）

2. 業績本数 主要なもの1、2点
3. 専門分野  
申告用紙に掲載した分野の中からお選び下さい。
4. 締め切り

2002年1月31日（消印有効）期限の厳守をお願いします。

## 5. 送り先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町、  
名古屋大学法学部 小野耕二

（送り先は、学会事務局ではありません。予算の関係で、封筒・切手などは各自で負担をお願いします。）

## 2001年度 第1回理事会記録

日 時：2001年6月9日（土）午後2時～3時  
場 所：近畿大学 本部キャンパス本館

第1回理事会では以下の事項が報告、協議された。

### 1. 各委員会報告

#### (1) 年報委員会

2001年度年報委員長の馬場理事（欠席のため藤原常務理事代読）より、2001年度年報は各人が執筆体制に入っており、年内刊行に向けて努力する旨の報告がなされた。2002年度年報委員長の安理事（欠席のため藤原常務理事代読）からは、公募論文に15本のエントリーがあったことが報告された。また2003年度年報委員長の渡辺理事（欠席のため藤原常務理事代読）からは、2003年度年報の特集は「性と政治」を予定しており、また現在委員会の委員を選考中である旨の報告がなされた。

#### (2) 企画委員会

2002年度企画委員長の加藤理事（欠席のため藤原常務理事代読）より、目下委員会を立ち上げ中であることが報告された。

#### (3) 国際交流委員会

国際交流委員長の蒲島理事より、2006年6月にIPSAが福岡で開催されることを踏まえ、今年3月末に福岡市に対して正式に依頼したことが報告された。また諮問委員会に石川捷治会員（九州大学）と曾根泰教会員（慶應義塾大学）の2名を新たに追加したことが報告された。

#### (4) 日韓交流小委員会

日韓交流小委員長の辻中理事（欠席のため藤原常務理事代読）より、韓国政治学会から日本政治学会

（10月13、14日開催）に2名を招聘し、また韓国政治学会（12月6～8日開催、〈テーマ〉「グローバルセッションと構造調整の政治」）に日本政治学会から2名を派遣する旨の報告がなされた。

#### (5) 文献委員会

2001年度文献委員長の藤本理事より、文献委員に大学院生会員2名を追加したいとの報告があった。これに対し、これまで大学院生会員が委員会の委員になった前例がないという意見が出されたが、今回に限定することを条件に承認されることとなった。但し今後は、各種委員会委員は会員であり且つなるべく専任の研究職についていることを原則とすることとした。また藤本理事より、政治学文献目録の刊行計画に関する素案が示されたが、費用をはじめとしたさらに詳細な刊行計画を作成し、引き続き検討することとした。

### 2. 学会開催校の件

2003年度は尚美学園大学で、2004年度は札幌大学で学会が開催されることが提案、承認された。

### 3. 新入会員の件

以下6名の入会が承認された。

梅澤昇平、川野徳幸、慶野義雄（再入会）、  
長富一暁、洪秦伊、三上了

### 4. 次回理事会開催日の件

次回理事会は10月13日（土）に立教大学において開催されることが承認された。

### 5. その他

## (1) 年報復刊に関する印税の件

藤原常務理事より、岩波書店から年報300セット(1セット30冊96,900円)が復刊され、その印税(3%)872,100円が学会に支払われたとの報告がなされた。

## (2) 会員名簿発行の件

藤原常務理事より、来年3月に会員名簿を発行す

る予定であることが報告された。名簿の形式、作成費用については事務局で検討することとなった。

## (3) 幹事交代の件

外山幹事(日本大学)が留学するため、水戸会員(尚美学園大学)が幹事を引き継ぐことが提案、承認された。

## 2001年度 第2回理事会記録

日 時：2001年10月13日(土)午後0時10分～1時  
場 所：立教大学 太刀川記念館

第2回理事会では以下の事項が報告、協議された。

### 1. 委員会報告

#### (1) 選挙管理委員会

選挙管理委員長の谷理事より、公選理事選挙結果について報告が行われた。有権者総数(1503名)、投票率(42.3%)、有効投票総数(601票)について説明が行われた後、当選者(21名)及び各々の得票数が報告された。当選者は次の通りである。

小林良彰、加茂利男、大嶽秀夫、渡辺 浩、北岡伸一、蒲島郁夫、杉本 稔、久米郁男、藤井德行、寺崎 修、飯島昇蔵、藤本一美、酒井正文、荒木義修、曾根泰教、安世 舟、加藤 節、加藤秀治郎、御厨 貴、新藤宗幸、中邨 章

(敬称略)

#### (2) 年報委員会

2001年度年報委員長の馬場理事より、2001年度年報は年内刊行を目指してきたが、現在の状況から、来年1月刊行を予定している旨の報告が行われた。2002年度年報委員長の安理事より、科研費が通り、現在研究会を催していること、またこれまでのところ、公募論文に15本の申込みがあったことが報告された。2003年度年報委員長の渡辺理事からは、2003年度年報委員として相内眞子(北海道女子大)、石川捷治(九州大)、岩本美砂子(三重大)、菅野聡美(琉球大)、竹中千春(明治学院大)、御巫由美子(国際基督教大)、渡辺浩(東京大)の各会員を選考したこと(他1,2名の追加を検討中)、また科研

費に応募する予定であることが報告された。

#### (3) 企画委員会

2001年度企画委員長の藪野理事より、学会開催校の新藤理事に対する謝辞が述べられた。2002年度企画委員長の加藤(節)理事より、2002年度企画委員として加藤節(成蹊大)、久米郁男(神戸大)、小林良彰(慶應大)、斎藤純一(横浜国大)、関口正司(九州大)、西崎文子(成蹊大)、藤原帰一(東京大)、松本礼二(早稲田大)の各会員を選考したこと、また共通論題として「20世紀の政治と政治学」、「冷戦の政治学的再考」の2案を検討していることが報告された。併せて広義のフェミニズムに関連する企画を設けることや、関心の拡散を避けるために分科会の数を調整することも検討している旨の報告が為された。

#### (4) 国際交流委員会

国際交流委員長の蒲島理事より、2006年の福岡でのIPSA開催が正式に決定されたことが報告された。その日程については、2006年6月25日(日)～6月30日(金)が提案され、次回理事会で決定することとした。福岡でのIPSA開催をうけ、3月26日、五百旗頭、蒲島、小林、佐々木の4会員が福岡市を訪れ福岡市長に協力を依頼、最大限の後援をする旨の回答を得たことが報告された。

また日本政治学会とヨーロッパ政治学会との交流プログラムに沿って、4グループが研究会を開いており、そのうち3グループが9月にケント大で発表したことが報告された。一方、本年度の学会におけるアメリカ政治学会との交流プログラムは、同時多発テロの影響で中止となり、今回のプログラムはそのまま来年に持ち越すことが確認された。

また国際交流委員会の西沢委員が現在体調不良の

ため、平野会員をその代理とすることが提案、了承された。

## (5) 日韓交流小委員会

日韓交流小委員長の辻中理事より、韓国政治学会から日本政治学会に2名を招聘したこと、また韓国政治学会に日本政治学会から2名を派遣することが報告された。

## (6) 文献委員会

2001年度文献委員長の藤本理事より、年報に掲載する「学会展望」の原稿は既に集まり、整理した上で岩波書店に渡した旨の報告が為された。また2002年度文献委員長の小野理事より、2002年度文献委員を現在選考中であり、次期理事会でその名簿を配布する予定であることが報告された。

## 2. 次期理事候補者選任の件

9月22日(土)に開かれた理事選考委員会において、選考理事15名が選出されたが、15名全員から次期理事受諾の回答を得たことが報告された。公選理事21名とあわせ、計36名の次期理事を総会で報告することが了承された。

## 3. 新入会員及び再入会会員承認の件

以下15名の入会が承認された。(なお、入会申込書に主要業績の記載のない5名については保留扱いとし、主要業績を確認した上で、次回理事会で再審

査することとした。)

石突美香、大海篤子、大和田宗典、加藤孔昭、菅野淳、金宗郁、慶済姫、佐々木寛、芝田秀幹、中谷美穂、中野勝郎、原千砂子、半田英俊、堀内勇作、矢澤達宏

また以下3名の再入会が承認された。(なお、理事会当日再入会の申し込みのあった2名については、過去2年間の会費納入状況を確認した後、次回理事会で再審査することとした。)

進藤榮一、宗前清貞、Roy Lockheimer

## 4. 事務局報告

第1回理事会記録(案)の訂正箇所を確認した後、議事録を確定した。

## 5. 次回理事会開催日の件

次回理事会は、12月8日(土)日本大学において開催されることが提案、承認された。

## 6. その他

(1) 2001年度文献委員長藤本理事より、政治学文献目録の刊行計画に関する私案が示されたが、費用の問題を含め、引き続き慎重に検討することとした。

(2) 2002年度日本政治学会総会及び研究会(愛媛大学)は、10月5日、6日に開催することが提案、承認された。

## 2001年度総会議事録

日 時：2001年10月13日(土)午後1時15分～1時50分

場 所：立教大学 タッカーホール

1. 開会挨拶 新藤宗幸理事(開催校：立教大学)

2. 理事長挨拶 堀江湛理事長

## 3. 委員会報告

第2回理事会の審議を踏まえ、谷選挙管理委員長、馬場2001年度年報委員長、安2002年度年報委員長、渡辺2003年度年報委員長、藪野2001年度企画委員長、加藤(節)2002年度企画委員長、蒲島国際交流委員

長、藤本2001年度文献委員長、小野2002年度文献委員長がそれぞれ報告した。

## 4. 決算・監査の件

藤原常務理事より2000年度決算についての報告があり、秋月監事より監査についての報告を受けた後、承認された。

## 5. 予算案の件

藤原常務理事より2001年度予算案についての報告があり、承認された。

## 6. 次期理事承認の件

堀江湛理事長より、次期理事選出の経過について

報告があり、次期理事として次の36名が承認された。

荒木義修（松阪大）、石川捷治（九州大）、  
飯島昇蔵（早稲田大）、市川太一（広島修道大）、  
伊藤重行（九州産業大）、梅川正美（愛知学院大）、  
大木啓介（尚美学園大）、大嶽秀夫（京都大）、  
小野耕二（名古屋大）、加藤秀治郎（東洋大）、  
加藤節（成蹊大）、蒲島郁夫（東京大）、  
加茂利男（大阪市立大）、河田潤一（大阪大）、  
北岡伸一（東京大）、久米郁男（神戸大）、  
小島朋之（慶應義塾大）、小林良彰（慶應義塾大）、  
酒井正文（平成国際大）、下斗米伸夫（法政大）、

新藤宗幸（立教大）、杉本稔（日本大）、  
須藤眞志（京都産業大）、鈴木礼暁（札幌大）、  
曾根泰教（慶應義塾大）、寺崎修（慶應義塾大）、  
中邨章（明治大）、西村茂（金沢大）、  
藤井徳行（兵庫教育大）、藤本一美（専修大）、  
藤原孝（日本大）、御厨貴（政策研究大学院大）、  
安世舟（大東文化大）、山谷清志（岩手県立大）、  
笠京子（香川大）、渡辺浩（東京大）（敬称  
略・50音順）

7. 閉会挨拶 新藤宗幸理事

## 2001年度臨時総会議事録

日 時：2001年10月14日（日）午後1時45分～1時  
50分

場 所：立教大学 タッカーホール

1. 開会挨拶 新藤宗幸理事（開催校：立教大学）

2. 2002年度総会及び研究会の件

堀江湛理事長より、次回総会及び研究会は2002年  
10月5日（土）、6日（日）に愛媛大学で開催され  
ることが報告された。

3. 委員会報告

蒲島国際交流委員長より、IPSAが2006年6月に  
福岡市で開催されること、また今回のAPSAとの交  
流プログラムが、同時多発テロの関係で来年度の研  
究会に持ち越されることが報告された。

4. 閉会挨拶 新藤宗幸理事

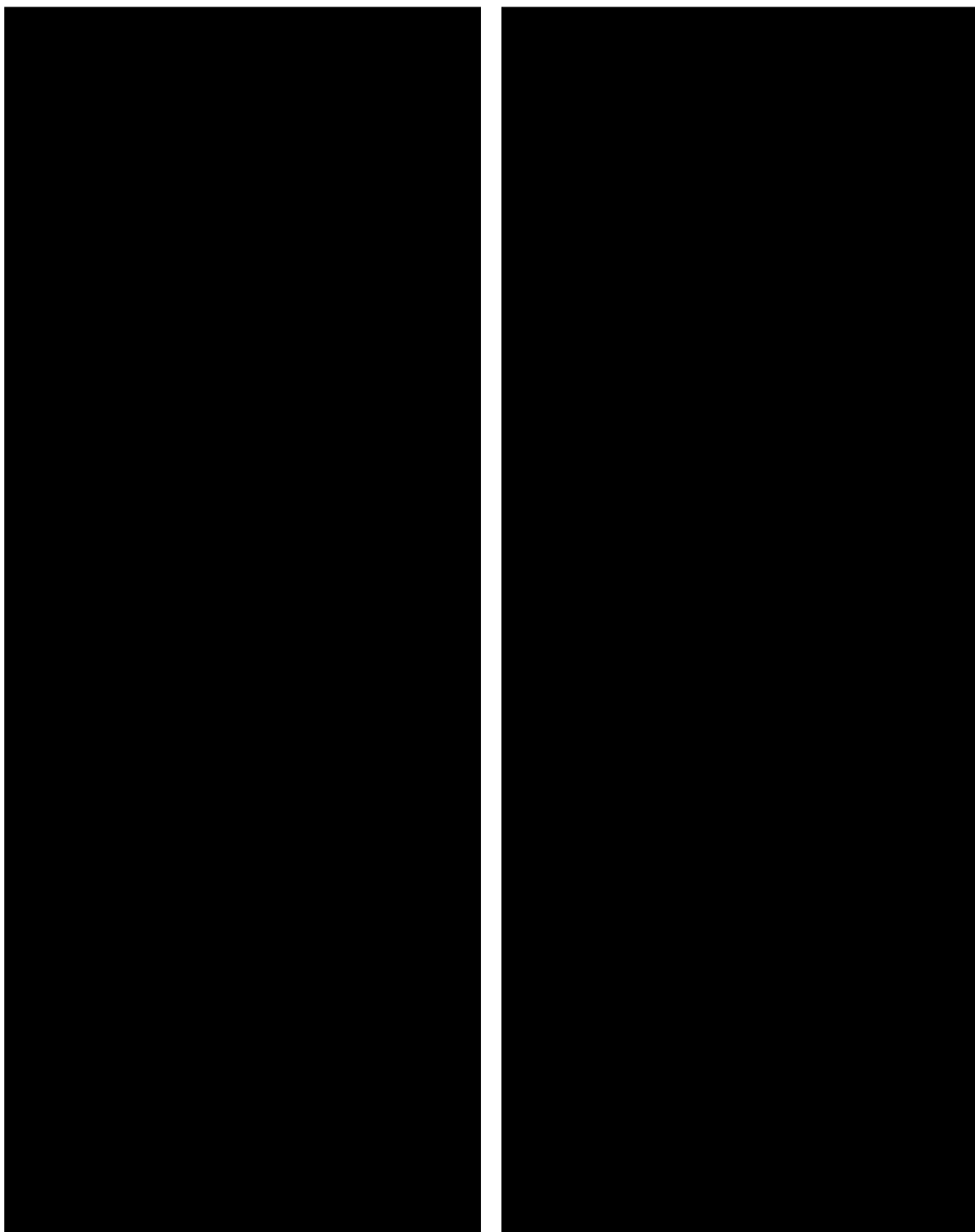
### 日本政治学会総会及び研究会開催校

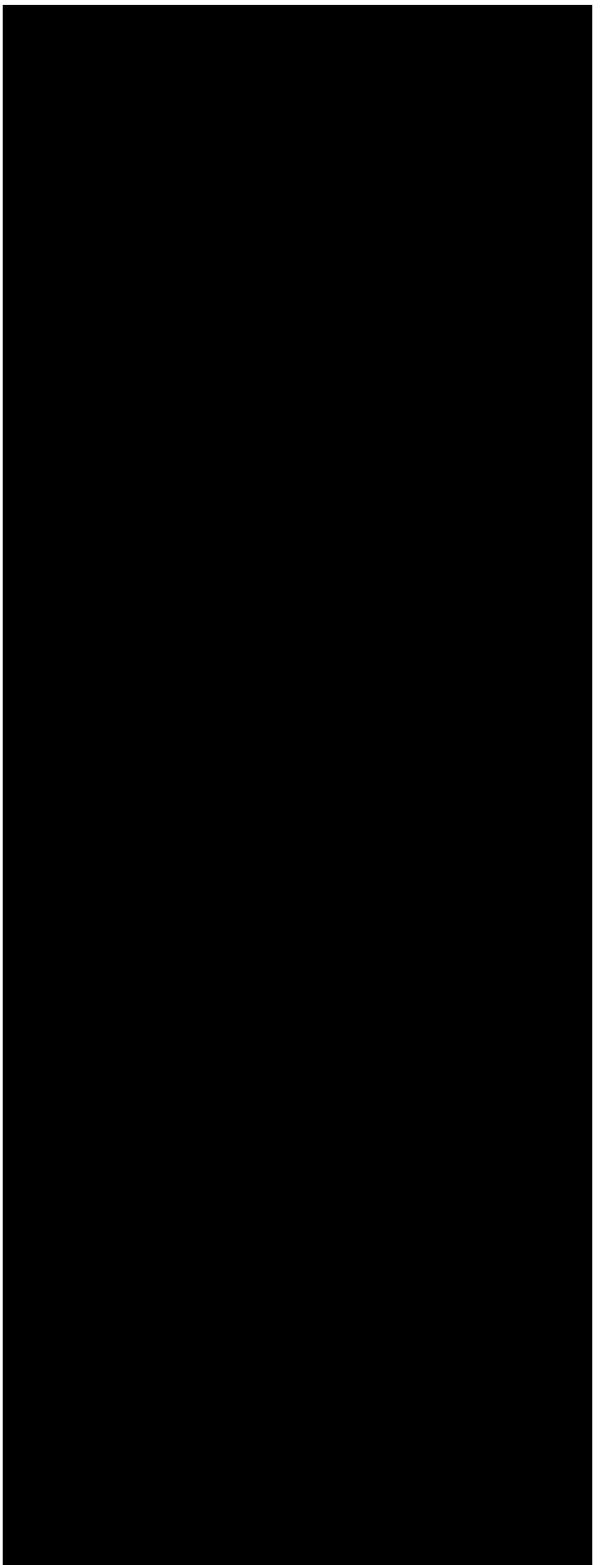
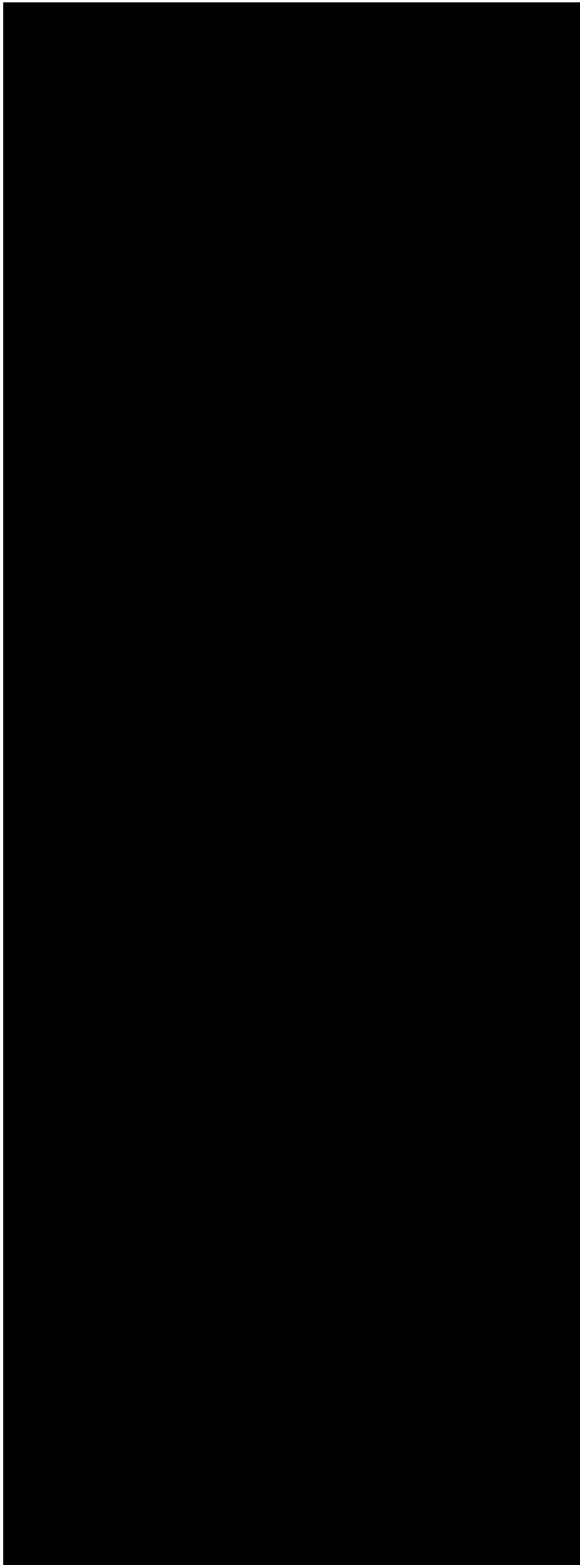
2003年度、2004年度の総会及び研究会開催校が決  
定しました。

来年度開催校と併せてお知らせ致します。

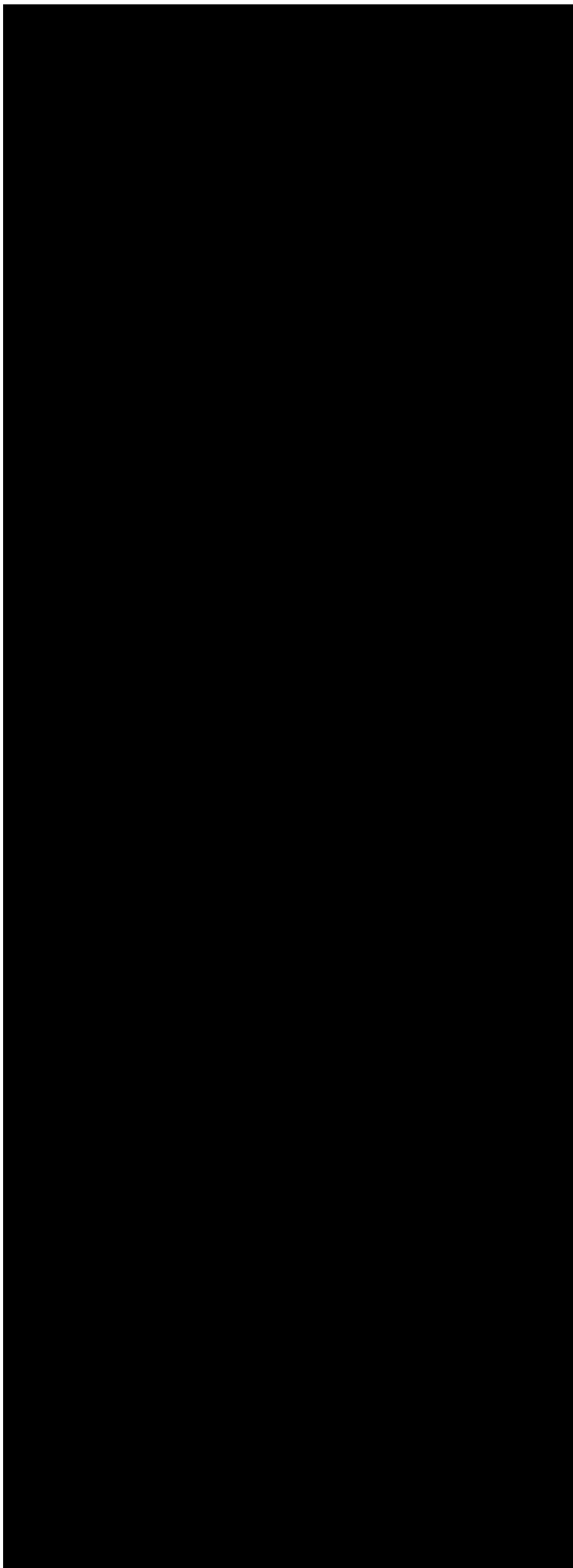
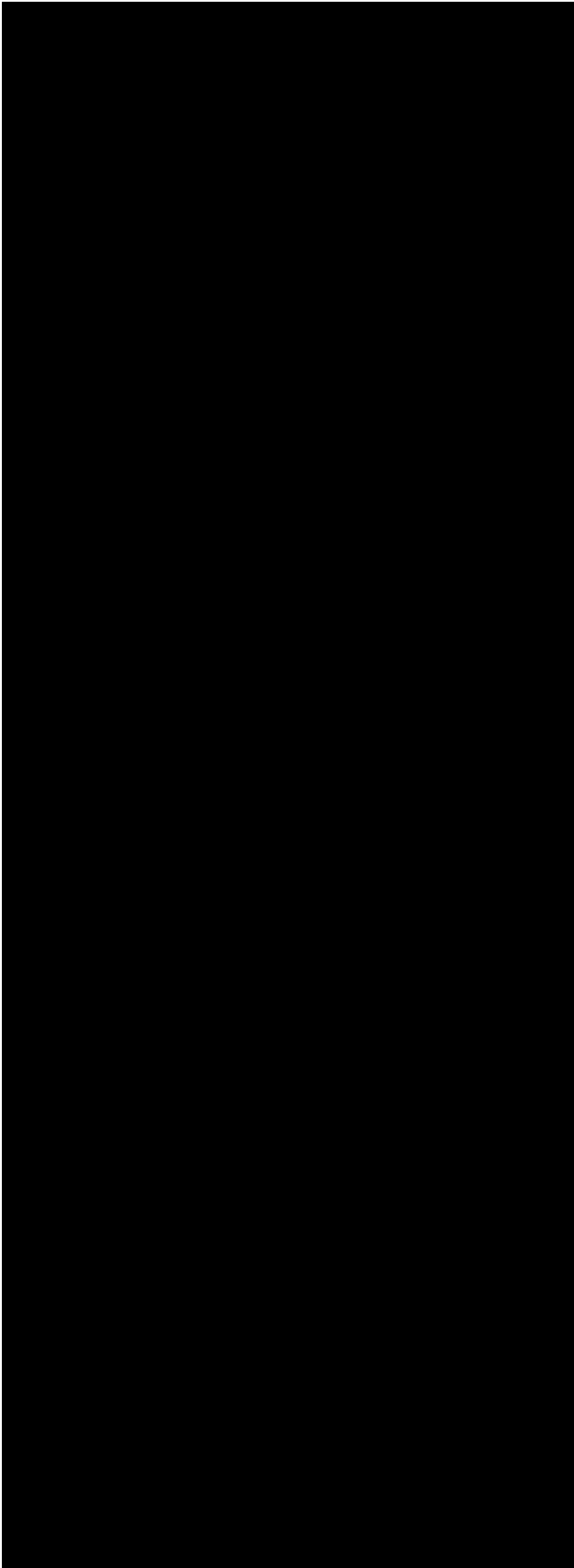
2002年度	愛媛大学
2003年度	尚美学園大学
2004年度	札幌大学

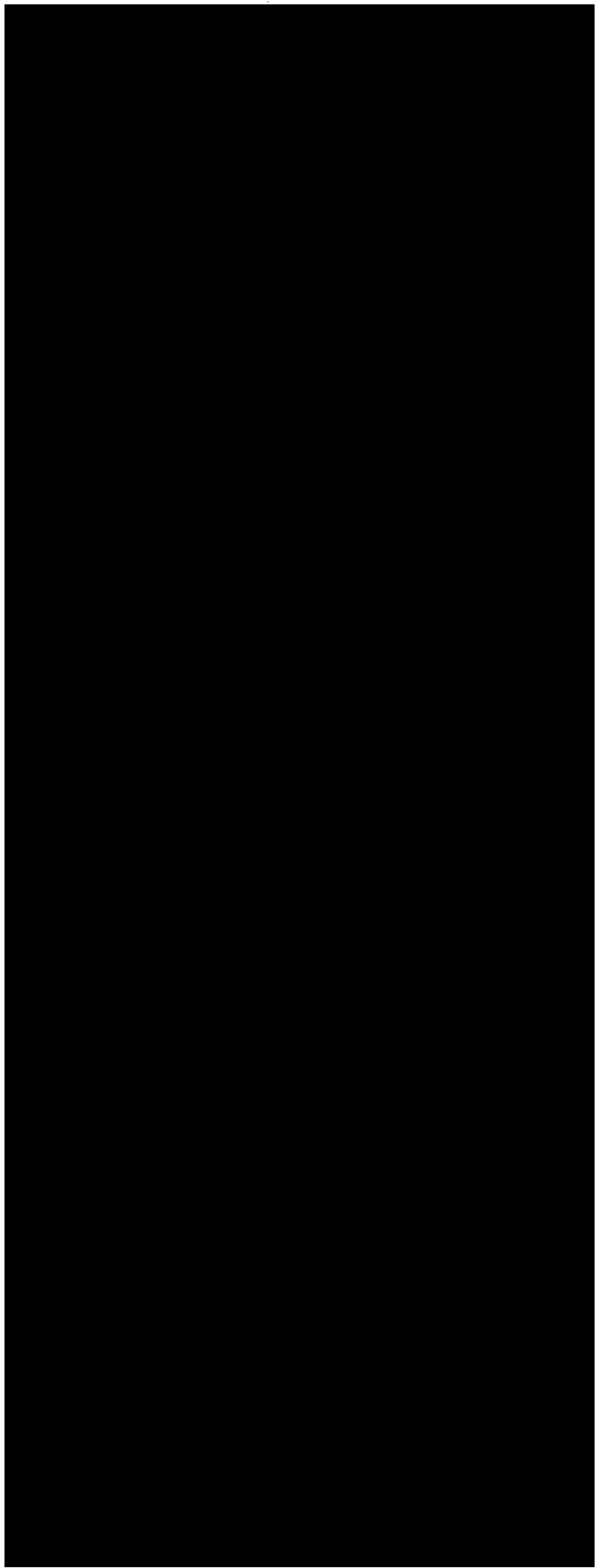
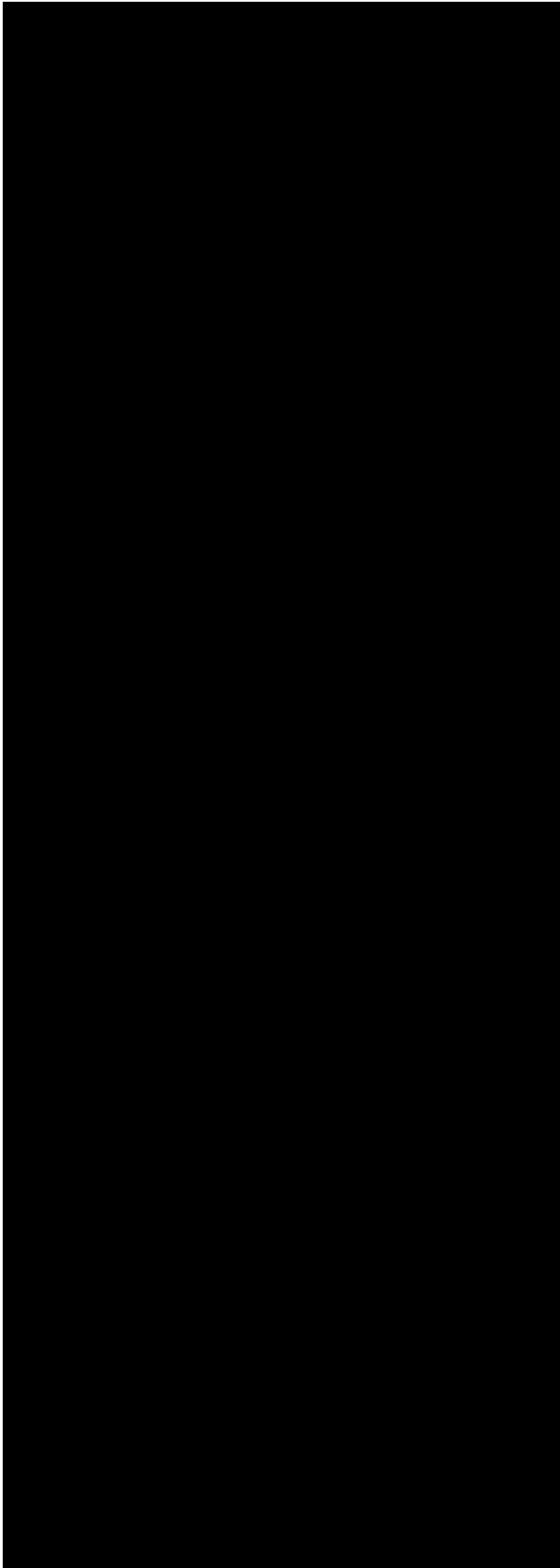
会員の異動







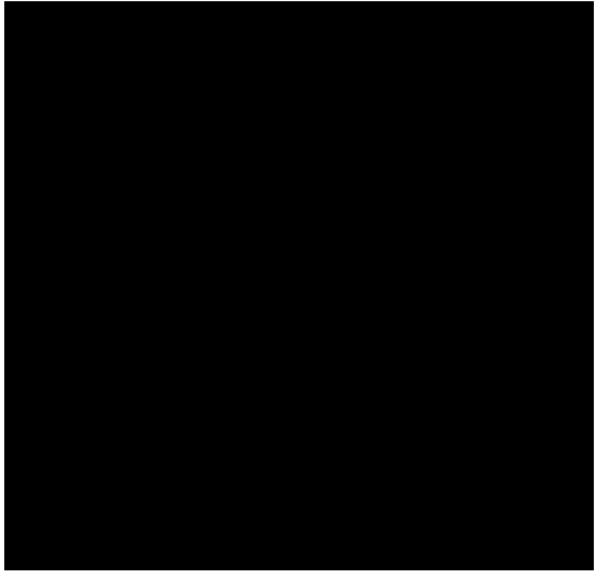
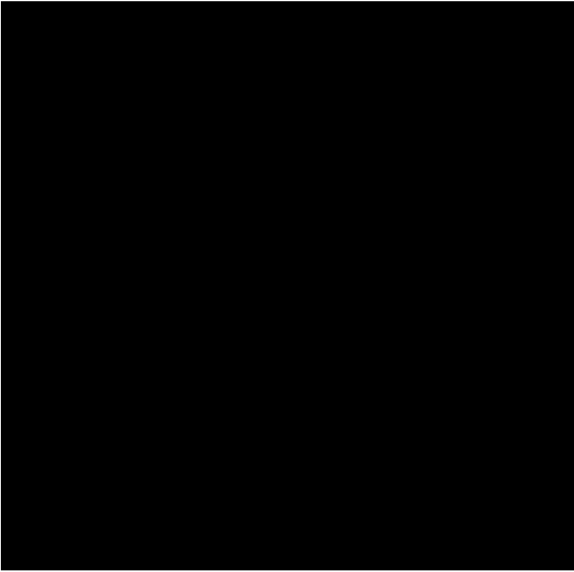




---

学 会 ニ ュ ー ス

---



## 事 務 局 よ り

### 会費納入についてのお願い

年会費をまだ納めていただいていない会員の方が若干おいでになります。学会事務センターからもご案内させていただいておりますが、何卒速やかにご協力の程お願い致します。一般会員は7,500円、院生会員は5,000円です。

ご不明な点は学会事務センターまでお問い合わせ下さい。

### 訃 報

下記の会員が逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

中山政夫氏 日本大学名誉教授 政治学原論 1921年生

佐藤英夫氏 筑波大学教授 国際関係・外交政策、国際政治経済論・日米関係 1942年生

中野 実氏 明治学院大学教授 政治過程論、比較政治 1943年生

### 本号の目次

1. IPSA世界大会 (2006) イン福岡……………1
2. 2003年度『年報政治学』  
論文公募について……………2
3. 2002年度企画委員会からのお知らせ……………2
4. 研究業績自己申告のお願い……………2
5. 理事会記録……………3
6. 総会議事録……………5
7. 会員の異動……………7
8. 事務局より……………12

2001年12月15日

発行 日本政治学会事務局

藤 原 孝

〒101-8375 東京都千代田区三崎町2-3-1

日本大学法学部内

TEL & FAX 03-5275-8599

(財) 日本学会事務センター

〒113-8622 東京都文京区本駒込5-16-9

会員業務 (退会、住所変更、会費)

TEL 03-5814-5810

FAX 03-5814-5825

印 刷 (株) 明光社印刷所